

NITS 立命館大学センター2025 年度総括

NITS 立命館大学センターは独立行政法人教職員支援機構（NITS）の近畿地区地域センターとして 2019 年度に本学教職研究科内に開設され、今年度 7 年目を迎えている。立命館大学教職大学院が連携協力をしている京都府、京都市、滋賀県、大阪市の教育委員会および滋賀県大津市、大阪府寝屋川市の 2 つの中核都市の教育委員会と連携しながら事業を展開してきた。

昨年度の地域センター事業の申請において、これまでの取り組みを引き続き実施するとともに、令和 4 年 12 月の「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)」で提言されたように、研修観を転換すべく新しい研修プログラムの開発と実施を行うこととなった。

(1) 組織体制と実施状況

1) NITS 立命館大学センター企画・連携会議

京都府、京都市、滋賀県、大阪市の教育委員会及び、滋賀県大津市、大阪府寝屋川市の教育委員会の代表者による会議。研修講座のテーマや講師のニーズ調査、大学センターへの要望の把握を行うとともに、各教育センター間の意見交換の場となっている。会議等の実施状況は次の通りである。

5 月 1 5 日(木) 第 1 回企画・連携会議 対面会議

- ・昨年度の総括について
- ・2025 年度の研修講座の活用について

7 月～8 月 研修内容等に関するアンケート調査

- ・来年度の研修講座のテーマ、時期等の希望について
- ・企画・連携会議への要望や改善点について

1 1 月 1 8 日(火) 第 2 回企画・連携会議 zoom オンライン会議

- ・令和 8・9 年度 NITS 地域センター事業への申請について
- ・2026 年度の研修講座の実施計画（案）について

3 月 5 日(木) 第 3 回企画・連携会議 zoom オンライン会議

- ・令和 8・9 年度 独立行政法人教職員支援機構地域センター事業について
- ・独立行政法人教職員支援機構立命館大学センター教職員研修講座動画提供に関する申し合わせの一部改正について
- ・教員研修モデル開発ワーキングメンバー選出依頼について

2) NITS 立命館大学センター運営委員会

実務家教員および執行部が運営委員となり、企画・連携会議と併せてほぼ毎月会議を開催し、センターの事業に関わる協議を行っている。一方、研究者教員は研修講座において専門分野の講座のコーディネータとなり、講師選定や講師との連絡調整、収録当日の運営にあたっている。また新たな事業の推進にあたっては、研究開発協力校への助言およびゼミでの研修員の受け入れなど、各教員が専門的な知見を活かして教職研究科全体で携わる体制となっており、必要に応じて教職研究科教授会とも連携している。

(2) 教員研修講座について

本年度は、連携する各教育委員会（教育センター）との協議を経て以下の講座を実施した。（リーフレット掲載順）

1. 「総合的な学習の時間」の評価をどうするか
（兵庫教育大学教授 勝見 健史）
2. 「国際バカロレア教育に学ぶ授業改善」
（灘中学校・灘高等学校教諭 井上 志音）
3. 「通常学級におけるインクルーシブ教育」
（ノートルダム清心女子大学准教授 青山 新吾）
4. 「教育における ICT 活用をさらに推進させるために」
（大阪教育大学教授 寺嶋 浩介）
5. 「日本の教育の場におけるウェルビーイングの醸成」

(京都大学教授 内田 由紀子)

1) 実施に係る留意点

- 昨年度同様、前年度に実施した以下の講座については、希望する連携教育委員会に録画を再提供した。
 - ①「「探究」型の学びをどう実践するか」
(関西学院大学教授／放送大学客員教授 佐藤 真)
 - ②「学校におけるモラルハラスメント」
(弁護士／社会福祉士 曾我 智史)
 - ③「外国にルーツをもつ子どもの教育」
(京都教育大学教授 浜田 麻里)
 - ④「チーム学校とスクールソーシャルワーカーの役割」
(スクールソーシャルワーカー__スーパーバイザー 佐々木 千里)
 - ⑤「不登校の捉え方と未然防止・初期対応」
(立命館大学名誉教授／近江兄弟社高等学校校長 春日井 敏之)
 - ⑥「チーム学校(学校組織マネジメント)の今」
(同志社女子大学特任教授／京都教育大学教授 水本 徳明)
- 本年度よりすべての講座をオンデマンド配信とした。各連携教育委員会には従来通りの録画提供を行った。
- コロナの5類移行後、対面で行う実施形態を検討したが、各連携自治体からはオンラインの形態を要望する声が多かったこともあり、引き続きオンライン研修とした。昨年同様⑤の研修講座については、オンデマンドで受講した後、対面で参加するワークショップの機会を設けた。
- 2023年度からは滋賀県の大津市教育委員会、2024年度からは寝屋川市教育委員会に企画・連携会議へ参加していただき本講座を活用いただいている。

2) 評価と今後への課題

研修講座後のアンケート結果については別紙集計にあるように大変好評である。大学ならではのネットワークを生かした講師の招聘や、職種にかかわらず自由に申し込みができることも本センターの事業の独自性と言える。各教育委員会のオンデマンド講座としての活用については年々定着しており、2025年度実施講座については1,175名の受講者数、前年度に実施した講座(オンデマンド配信)は1,071名の受講者数となり、ニーズの高さが窺える。

ただ、オンラインでの研修についても「研修観の転換」が必要であり、先述の通り今年度もオンライン研修の後に対面でのワークショップの場を設定し、講座内容の理解を深めて探究的な学びにつなげていく機会の提供を試みた。やはり講師や他の参加者と直接意見を交わすことができることはより深い学びにつながると好評ではあったが、参加者数は少なかった。従来の講義型の研修だけではなく、受講者自らの学びになるような研修のあり方についてはさらに検討が必要であろう。

(3) 新たな事業の進捗状況について

昨年度、今年度の2年間は、採択された地域センター事業の申請内容を前提に「研修観の転換」を図る新しい教員研修プログラムを開発していくために、二つの事業を計画し実施した。一つは「新たな教員研修モデル研究開発協力校」事業であり、もう一つは「NITS立命館大学センター研修員制度」事業である。また、教育委員会との連携のために設置している「NITS立命館大学センター企画・連携会議」の下に「教員研修モデル研究開発ワーキング」を設置し、教育委員会の研修担当者にメンバーとして参加していただいている。

地域センター事業は次の2か年についても採択されたため、次年度もこれらの事業を継続的に実施することとしている。以下はその概要である。

1) 「新たな教員研修モデル研究開発協力校」事業

昨年度の年度途中からの実施であるため、本学教職大学院との連携関係が構築され

ている連携協力校3校（京都市立朱雀第一小学校、大阪市立田島南小中一貫校、寝屋川市立楠根小学校）において協力いただき実施した。当該校における校内研修において、学校自らが問いを立てながら探究のデザインができるように、本学センターの教員が研修に参加し支援している。

京都市立朱雀第一小学校：人権教育研修および自主的な研修サークル活動において助言を行った。

大阪市立田島南小中一貫校：校内研修および5科における小中協働授業改善プロジェクトへの助言を行った。

寝屋川市立楠根小学校：国語の校内研修において助言を行った。

2) 「NITS 立命館大学センター研修員制度」事業

教員の探究的な学びを支援するために、特定のテーマについて探究をしたいと考えている教員を対象として、教職大学院のゼミにオブザーバー参加できる制度を設けた。希望者4人を受け入れ、それぞれ研究テーマを持ってゼミに参加している。8月5日には研修員の交流会を持ち、3月11日には報告会を持った。研修員が取り組んだ研究テーマは次の通りである。

- ・愛着に課題を抱える子どもの現状と学校組織 ～エピソードプロセスから見た子どもの心情整理～
- ・「論理的思考力、表現力を育てる国語教育」 ～根拠・理由・主張（三角ロジック）を活用した授業づくり～
- ・学級におけるインクルーシブ教育の推進につながる要因は何か
- ・教職員研修について

3) 「教員研修モデル研究開発ワーキング」

上記事業の取り組みに関わっては、本センター企画・連携会議の下にワーキンググループを設置し、情報共有、成果や課題の検討を行い、「新たな教員研修」の検討や実施状況、履修履歴の活用状況などについても情報共有を行っている。今年度は7月11日に本学大学院教職研究科の荒木教授より「リフレクション」について話題提供を行い、研修時の振り返りなどについて意見交換を行った。2回目は3月17日に実施し、広島大学の草原教授による講演会とディスカッションを行った。「研修観の転換」にむけて広島県教育センターとの間で行っている新しい教員研修の実践を中心に、教師教育はどうあるべきかという観点も交えながら、内閣府のSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）に採択された「デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校」における広域交流型オンライン学習の現状や、その活動を通じた教師教育者の成長のあり方なども含めて講演していただいた。第2回ワーキングではNITS近畿地区フェローの2名をお呼びし、地域センターとフェローとの連携という、立命館ならではの新しい取り組みを試みた。